

原因の大部分は後天的

おうちの 相談室

歯が一部欠損している場合は
遺伝が関連していることも考
えられます。

ところで、この質問者の方
からの質問状を読んで非常に
感心したのは、子どもたちへ
の歯に関する教育です。おそ
らく、これまでの自分の歯に
対する認識不足を、大変悔い
ているのではないでしょう
か。歯を失ってこそ感じる不
自由さについて、子どもも同
じ目に合わせたくないとい
う一心で、歯の大切さを説いて
いるのではないのでしょうか。

それを当たり前のこととし
て過ごされた子どもさんが、ま
た当たり前のように、その子
息に歯の教育を行う。歯科医
師の私も見習いたい教育のル
ープだと思いますし、これぞ真
の予防歯科だと思います。ぜひ
身内のみならず、友人やお知り
合いまで、このループを広め
ていただければと思います。

もちろん、かかりつけの歯
科医院でも、これをお手伝い
します。歯のお悩みがあれば
気軽ににご相談ください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を
受け付けます。県歯科医師会の
先生方が回答します（直接本人
に回答はしません）。症状など
を分かりやすくまとめ、住所、
氏名、年齢、職業、電話番号を
明記し、〒852-8601、
長崎市茂里町3の1、長崎新聞
社生活文化部「お口の相談室」
係に送ってください。県歯科医
師会のホームページは「802
0ながさき」で検索できますの
で参考にしてください。

歯の弱さは遺伝？

【問い】母はよく「うちの家系は歯が弱いから、あなたも気をつけなさい」と言います。この口癖のおかげか、私も息子もあまり歯で悩んだことがありませんが、本当に歯の弱さは遺伝するのでしょうか。（佐世保市、43歳男性）

【答え】「家系的に歯が強い、弱い」ということは患者さんからも良く言われますが、結論から言うと、遺伝するという見方は誤りです。

2018年に行われた公益財団法人「8020推進財団」による永久歯の抜歯原因調査によると、歯を失う三大原因は「歯周病」「う蝕」「破折」で、合わせると全体のうちの84%を占めます。

歯周病は細菌感染が原因とされており、う蝕は原因となる細菌や糖分の摂取など、さまざま要因が全て悪化した際に発症するといわれています。また、破折は外傷や食いしばりなどにより起こります。つまり、歯を失う原因の大部分は後天的なものなのです。

しかし、先天的に顎の形態に異常がある場合や、歯の組

回答者
高瀬 一馬
佐世保市御船町
カズ歯科医院長

